

YCU・総合型選抜

2023年度 募集概要

募集要項（願書）は本学受験生ポータル、またはモバイルサイト <http://ycu.jp> より請求できます。

募集人員	国際教養学部 25名	国際商学部 5名	理学部 若干名	データサイエンス学部 5名
昨年度倍率 (志願/合格)	3.6倍	2.4倍	1.3倍	3.8倍
出願期間	2022/9/1(木)～5(月)			10/11(火)～13(木)
1次選考 書類審査	以下の提出書類により、総合的に審査 <100点満点>			
	70点	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーション(発表)概要1「これまでの活動や取り組みで自己評価できるもの」 ●プレゼンテーション(発表)概要2「志望理由・入学後の目標」 *様式を2～3面に縮小掲載しています。 		
	30点	<ul style="list-style-type: none"> ●英語資格の級・スコア ●高等学校の調査書等 		
1次合格発表	9/30(金)			11/4(金)
2次選考 面接審査 1人30分 程度の 個人面接	10/15(土)			11/19(土)
	<ul style="list-style-type: none"> ●提出したプレゼンテーション概要1・2にもとづく発表(10分)と質疑応答(20分) <各学部に関連した基礎知識やその他総合的な事に関する質疑応答を含む> ●発表の際は、ポスター等の掲示物を使用することも可能 ●外国在住の希望者には、オンライン(Zoom)で面接を実施 ●書類審査(100)+面接(100)の合計点 <200点満点> で総合評価 			
2次合格発表	11/1(火)最終合格			12/1(木)
(3次選考) 大学入学 共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> ●最終合格後の学習課題として「大学入学共通テスト」5(6)教科7(8)科目を受験 ●その他、課題図書読書の読書レポート提出など 			<ul style="list-style-type: none"> ●3次選考として「共通テスト」4(5)教科6(7)科目を受験 ●書類審査(100)+面接(100)+共通テスト(600)の合計点 <800点満点> で総合評価

出願要件 次のいずれにも該当する者

- (1) 横浜市立大学と国際教養学部/国際商学部/理学部/データサイエンス学部の理念や教育内容をよく理解し、学部への志望理由や入学後の構想(何をどう学びたいか、これまで自分が取り組んで得た能力・知識をどう深め、また広げて活かしていくか)が明確で、それを実現するに十分な意欲と能力を有する者
- (2) 学業、社会人経験などを通じて、さまざまな活動に積極的に取り組み、成果をあげていると自己評価できる者
- (3) 本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者
- (4) 以下の英語資格等の要件を満たす者 (2020年4月以降に受験した資格、詳細4面参照)

国際教養学部	○全体の評定平均値 4.3 以上の日本の高校現役生～1浪生は【B】、 ○それ以外の者は【A】
国際商学部	○「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」4科目、または 「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」4科目を履修し 全体の評定平均値 4.0 以上の日本の高校現役生～1浪生は【B】、 ○日商簿記検定試験(第155回以降)の2級以上取得者は【B】、 ○それら以外の者は【A】
理学部	○全体の評定平均値 4.0 以上の日本の高校現役生～1浪生は【B】、 ○それ以外の者は【A】
データサイエンス学部	○【B】

出願要件に定める英語資格

※いずれも2020年4月以降に受験した資格が対象。TOEFL-ITP、TOEIC-IPは、認められません。
TOEFLは、MyBest Scoresでも有効です。英検はいずれのフォーマットでも有効です。

[A]	TOEFL-PBT 500(iBT 61)、TOEIC(L&R) 600、IELTS 5.0(アカデミック・モジュール)、GTEC(検定版・CBT)1140、または英検準1級
[B]	TOEFL-PBT 460(iBT 48)、TOEIC(L&R) 500、IELTS 4.5(アカデミック・モジュール)、GTEC(検定版・CBT)1000、または英検2級

趣 旨	総合型選抜は、横浜市立大学国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部での勉学を強く希望する人を対象とした「自己推薦」による入試です。高等学校卒業予定者や既卒者、高等学校を卒業してから何年か社会で活躍した人など、大学入学資格を持つ人を広く対象としています。
選考で重視する能力	<p>第1次選考の書類審査と第2次選考の面接（発表＝プレゼンテーション、質疑等）では、以下の点を重視して評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> これまでの活動や取り組みを通して、自ら問題や課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動する能力（問題発見・問題解決能力）を問います。取り組みや行動の結果だけでなく、結果にいたる「過程」や行動の「意義」も重視します。 入学後に何を、どう学びたいかの明確な目標があるか。また、その目標を実現するための十分な能力と意欲があるか（目標設定能力）を問います。目標はこれまでの経験や成果を踏まえた上で設定してください。 活動や取り組みの内容や入学後の目標を、明確に筋道をたてて説明する能力（表現力・論理的な思考能力）を問います。

Q. 提出する英語資格の証明書は、コピーでも良いですか？

A. いいえ、原本を提出してください。英検の「合格証明書」、TOEICの「Official Score Certificate」、GTECの「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」は、実施機関に請求すれば随時追加発行されますので、各自で用意して提出してください。TOEFLとIELTSについては、実施機関よりTOEFLの「Official Score Report」(DI-CODE:0416、Department Code:00)、IELTSの「Test Report Form」を、本学へ直送するように手配してください。なお、出願期間内にスコアのWeb表示等を印刷して提出すれば、原本の到着はある程度遅れても構いません。

Q. 複数の級やスコアを持っていますが、どれを提出したら良いですか？

A. TOEFL・TOEIC・GTEC・英検・IELTSの各評価点は以下の様に定めており、複数提出された場合はその中から最も高い評価点を採用します。<TOEFL、TOEIC、GTECについては、中間点を0.1点きざみで評価します>

得点	TOEFL-PBT (iBT)	TOEIC(L&R)	GTEC	英検	IELTS
20.0	540 (76)	700	1280	準1級	5.5
16.0	500 (61)	600	1140		5.0
14.0	480 (54)	550	1070	2級(CSE2200)	
12.0	460 (48)	500	1000	2級	4.5

Q. プレゼンテーション概要を英語で書き、また2次選考（面接選考）の発表を英語で行っても良いですか？

A. いいえ、ともに日本語で行ってください。

Q. プレゼンテーション概要の内容に関わる資料（新聞記事・賞状・制作物等）を提出しても良いですか？

A. いいえ、別添資料の提出は認められません。第2次選考（面接審査）に際しても、それらの資料を配付・提出することは認められませんが、ポスターなどと同様に、発表時に提示することはかまいません。

Q. 総合型選抜と同時に、他の入試を併願しても構わないですか？

A. はい。総合型選抜の最終結果が出る前であっても、本学の特別選抜（海外帰国生・国際バカロレア・科学オリンピック・外国人留学生・社会人）や一般選抜、他大学の入試を併願しても構いません。ただし総合型選抜で不合格となった場合を除き、本学を含む国公立大学の学校推薦型選抜には出願できません。また本学の総合型選抜で合格した場合は、必ず総合型選抜の合格者として入学手続を行わなくてはなりません。なお、国際教養学部・国際商学部・理学部の総合型選抜に出願している者がデータサイエンス学部の総合型選抜にも出願した場合、先行する学部で最終合格となった者は、データサイエンス学部では1次書類審査の結果に関わらず2次面接に進むことはできません。

Q. 総合型選抜で不合格になった者が、学校推薦型選抜または一般選抜に再度出願した場合に、それらの合否判定での有利不利はありますか？

A. いいえ、これらの選考はそれぞれ別個のものとして実施しますので、総合型選抜で不合格になった場合でも、合否判定における取り扱いに差はありません。